
獅子王

新真

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

獅子王

【Nコード】

N9951Y

【作者名】

新真

【あらすじ】

戦に大敗したヴェリス帝国は、あるうことかその戦で騎士総団長が戦死してしまう。にわか騒がしく鳴り出した帝国内部。暗躍する大臣、玉座を守る皇帝、篡奪を企てる騎士団長、讓位を迫る皇太子。獅子王家の次男として生まれたクリストフも否応無く渦中に巻き込まれる。

プロローグ

男は走っていた。

息も絶え絶えになりながら男は走る。しかし、その足はすでに鉛のように重く、動きは鈍い。

それでも男は走る。

自らが尊敬する騎士の最後の命令を果たすため。

戦場で乗っていた馬はとうに乗り潰れ、男の軍靴は擦り切れ、破れている。

鎧は身に着けておらず、剣は折れ、顔は汚れ、髪は整えられていない。

その風貌は騎士と言うよりも浮浪者に近いものであったが、男はまさしく騎士であった。

いや、あつたというには不確かだ。男の意識の中では現在も自分は騎士であり、その誇りは捨てたつもりはない。

男は走る。

すでに三日三晩走り続け、見上げる太陽は天高く男の太陽を無慈悲に奪う。

それでも男は走る。

疲れていないはずはない。しかし、休む事は男の矜持が許さない。

例え、肉が裂け、骨が砕けようと男は尊敬する騎士の最後の命を達するため走る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9951y/>

獅子王

2011年11月30日00時50分発行